

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産

定率法によっております。耐用年数は5年です。

無形固定資産

定額法によっております。耐用年数は5年です。

(2) 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金及び短期金銭債権債務(短期貸付金及び短期借入金を除く)を含めております。

2 次期繰越収支差額の内容は次のとおりであります。

科目	期首残高	当期末残高
現金預金	173,421,062	889,610,411
棚卸資産	699,331	0
前払費用	51,371,976	15,983,182
未収入金	3,933,248	362,775,049
預り基金特定資産	667,323,369	75,286,010,000
合計	896,748,986	76,554,378,642
未払金	114,307,736	516,023,794
未払法人税等	70,000	33,889,900
未払消費税等	9,885,100	68,327,400
預り金	11,915,226	30,609,038
預り基金	671,972,850	75,632,793,864
合計	808,150,912	76,281,643,996
次期繰越収支差額(期首資金有高)	88,598,074	272,734,646